

■東常縁 武将，歌人。作品に感銘した斎藤妙椿が城の包囲を解き，伝来の古今集を宗祇に講義し“古今伝授の祖”。

とうつねより

・ ・ ・ ・ ・ 1405＝ この頃，美濃東氏7代目として益之の子に生まれる。母は藤原氏。（生年には諸説）

下野守，美濃国郡上郡篠脇を伝領。

足利義満没・1408＝ 3歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1414＝ 9歳：

義持出家・ ・ 1423＝18歳：

義教鑑引将軍1428＝23歳：

明貿易回復・1432＝27歳：

嘉吉の乱・ ・ 1441＝36歳：

京にあつて，

・ ・ ・ ・ ・ 1448＝43歳： 藤原氏保のために「定家仮名遣」を書写して奥書したのが初見。

足利義政将軍1449＝44歳： 故鎌倉公方足利持氏の遺児成氏の東下の年，兄の歌友正徹を訪ね，正徹が東家邸を訪れてくれたことに感激するも，その革新的歌風にはついて行けず，やはり東家邸を訪れた古今集を根幹とする堯孝に共感。

・ ・ ・ ・ ・ 1450＝45歳： 正徹から「源氏物語」の歌の解説を聞いた後，堯孝に入門。

・ ・ ・ ・ ・ 1452＝47歳： 正徹が将軍足利義政に謁見した際に同行し，若君義尚の命で正徹に続いて歌を進上。堯孝が北野天神で開いた歌会に兄とともに出席。

・ ・ ・ ・ ・ 1453＝48歳： 左近将監に任官し，従五位下に叙される。

古河公方始・1455＝50歳： 将軍義政から，下総で起きた千葉一族内紛の鎮定を命じられて東下し，馬加康胤・原胤房の本城を攻落として敗走させるが，

・ ・ ・ ・ ・ 1456＝51歳： 古河公方成氏が市川城に籠る千葉実胤らの追討に出て原胤房が挽回し，市川城が落城したため逃れ，上杉氏の援軍を得て反撃，ようやく胤房を追討し，康胤を討ち取った。

寛正大飢饉始1459＝54歳： 正徹が死去。

蓮如御文始・1461＝56歳： 右大臣家歌会に出席，

応仁の乱始・1467＝62歳： 応仁の乱が勃発。義政側近であったことから山名方(西軍)と見なされ，

・ ・ ・ ・ ・ 1468＝63歳： *細川方(東軍)の美濃守護土岐成頼の命を受けた守護代斎藤妙椿によって東氏の居城篠脇城が攻撃され落城，その悲報を聞いて詠んだ歌を漏れ聞いて妙椿が感動，

・ ・ ・ ・ ・ 1469＝64歳： 子や副将に下総を任せて上洛後，妙椿と会見，篠脇城を返還されるとともに，歌一首を贈られる。美濃に戻って妙見社を再建し，所領の復興に努める。東氏伝来の多くの書物が焼失したなか，「古今和歌集」は焼失を免れ，

蓮如吉崎御坊1471＝66歳： *堀越公方足利政知に協力すべく遣わされていた伊豆三島の陣中に，古今集の奥義を求めて来訪した飯尾宗祇に古今伝授を始め，勝利した戦後，上総の大坪基清の懇望によって古今集を講義した。以後しばらく，門弟随一と信頼を置く宗祇とともに行動をともし，美濃に着いた宗祇が「美濃千句」を催行した後，
*古今伝授が完了。大坪(源)基清に古今相伝一流の説を授ける。

足利義政隠居1473＝68歳： 宗祇が郡上郡を去って上洛，

加賀一揆始・1474＝69歳： 江戸城を訪れて故実を語る。

・ ・ ・ ・ ・ 1475＝70歳： 江戸城を訪れて故実を語る。

応仁の乱終・1477＝72歳： 伊勢貞宗に美濃紙二束を贈る。

・ ・ ・ ・ ・ 1478＝73歳： 足利義政・義尚に太刀を贈る。

・ ・ ・ ・ ・ 1480＝75歳： *将軍足利義尚の御教書をもって上洛し，後土御門上皇に古今伝授，さらに勅命で，関白近衛政家・内大臣

三条公教・将軍義尚らに講義，東山で古今伝授を実施した(東山伝授)。

狩野正信絵師1483＝78歳： 自邸で歌会を開く。

銀閣寺着工・1484＝79歳： 没した。(1494説も)